

令和4年12月定例会で一般質問を行いました！

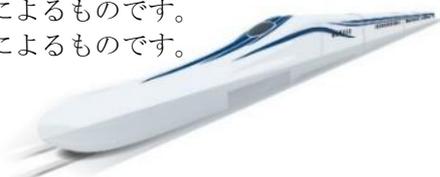
若者の地元定着について「若者参画によるまちづくりについて」

直近、令和2年の国勢調査の中津川市人口は、平成27年の調査と比べ、2313人（2.93%）減少しております。中津川市人口ビジョンでは、令和42年の人口は5万2033人まで減少することが見通されています。中津川市の将来人口は社会増減の影響度が高いと分析されているものの、出生率が他地域よりも高い地域性を活かして、自然動態と社会動態の両面からの対策を講じながら、互いの効果を高めることが求められています。その社会動態の要因の一つであります中津川市内高校新卒者の市内企業就職率は約40%となっており、中津川市の若者の地元定着推進事業は、若者と地元企業の出会う機会と、地元で安心して働ける環境を創出する重要な事業だと考えております。このような雇用確保の事業も重要であります。若い感性で「まち」を活性化させることも重要であると考えます。若い目線の発想で「まちづくり」の方策を提案していくことは、若い次世代層が住み続けたいと思う「まち」に近づき、自分たちの意見が「まちづくり」に反映されることは、故郷を愛することまた定住にも繋がると考えます。



詳細は中津川市議会インターネット映像配信で見ることが出来ます。是非、ご覧ください！

※自然動態とは、出生数と死亡数によるものです。
社会動態とは、転入数と転出数によるものです。



若者の地元定着について

「リニアのまちづくりVRについて」

リニア中央新幹線岐阜県駅開業の決定により、中津川市は活性化のきっかけとなる大きな機会を得ることになりました。そのリニアを活用したまちづくりを期待する中で、リニア開業後、中津川市はどのように変わっていくのかを楽しみにしている市民は多くいると考えます。令和4年度予算化されました「リニアのまちづくりVR」は、近い将来の中津川市の変貌をPR動画で見ることができます。若者の地元定着に影響を及ぼす映像だと考えており、また若者のみならず市民の多くが知りたい情報だと考えます。



宮島としあき後援会事務所

〒508-0203 中津川市福岡2525番地3
電話・FAX (0573) 72-2263

発行責任者 宮嶋寿明

